記入例　①　依頼（委嘱）状

様式2－2

兼　業　依　頼（委嘱）　状

文書番号等	
令和○○年　○月　○日	

国立大学法人　神戸大学長　殿

団　体　名　一般社団法人　○○研究所
代表者役職名　理事長
代 表 者 名　○　○　○　○　印

貴学の職員に下記のとおり兼業を依頼したいので、よろしくお取り計らい願います。

記

法人・団体の所在地　〒０００－０００００ ○○市○○区○○町２－１		
担当部署 企画部　整備課	担当者 ○　○　○　○	連絡先（電話番号） (000)000－0000 内線 0000
事業内容 ○○に関する調査、研究開発を行うことにより、○○の発展に寄与することを目的とした法人		
委嘱を受ける職員（兼業に従事する職員）		
所　属 ○○学研究科	職　名 教　授	氏　名 ○　○　○　○
委嘱する職名	職務内容	
○○○○委員会委員	○○に関する検討委員会おいて、学識経験者としての指導、助言	
予定期間	令和○○年　４月　１日　から　令和○○年　３月３１日　まで □　新規　　■　継続	
勤務態様 従事時間	毎　曜日　　時　　分 ～　　時　　分 毎　曜日　　時　　分 ～　　時　　分	期間内４回　１回あたり２時間程度
報　酬	■　有　　１回につき２０，０００円	
旅　費	■　有　　□　無	
本依頼状に対する回答書について	□　必　要　　■　必要なし	

兼業従事者記入欄

兼　業　許　可　申　請　書

令和○○年○○月○○日

神　戸　大　学　長　殿

チェックでもよい

氏名（自筆）　○　○　○　○

自　筆

上記の兼業について、神戸大学職員兼業規程に基づく許可を申請します。
なお、本兼業については、所定労働時間外に従事するため本務遂行になんら影響はなく、本務に支障がある場合は従事しません。
また、本兼業が依頼された理由は次のとおりです。
□　上記の職務内容を担当する適任者が他にいないため、特に依頼されたものである。
■　審議事項等の重要性から学識経験者として特に依頼のあったものである。
□　その他（　　）

事務記入欄	（必要に応じて使用してください。）

上記の兼業を許可する。
令和　　年　　月　　日　　所属部局長　　印